

令和 3 年度

大学院履修要項

修士課程（生命薬科学専攻）

北海道医療大学大学院薬学研究科

○ 北海道医療大学大学院の教育理念・教育目標

[北海道医療大学大学院の教育理念]

建学の理念を基本として、大学院の教育理念を以下のように定める。

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、人間性豊かな高度専門職業人の養成ならびに独創的な研究活動を通して、社会の発展と人類の幸福に寄与することを北海道医療大学大学院の教育理念とする。

[北海道医療大学大学院の教育目的]

北海道医療大学の教育理念に沿って、高度な専門知識・技術の修得に加え、保健・医療・福祉分野の横断的な知識および豊かな人間性を有した高度専門職業人の養成と最先端の研究活動を通じて、社会の発展、人類の幸福に寄与できる教育・研究者の養成を本大学院の教育目的とする。

[北海道医療大学大学院の教育目標]

北海道医療大学の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 豊かな学識と人格の養成
2. 高度な専門知識および学術の修得
3. 独創的な研究および研究能力の開発
4. 社会の要請に的確に対応できる教育・研究の推進

○ 大学院薬学研究科の教育理念・教育目標

[大学院薬学研究科の教育理念]

《生命薬科学専攻修士課程》

本大学院の教育理念を基本として、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、高度な専門性を有する薬科学研究者の養成により、医療社会の発展と人類の幸福に寄与することを薬学研究科生命薬科学専攻（修士課程）の教育理念とする。

《薬学専攻博士課程》

本大学院の教育理念を基本として、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育・研究を推進し、社会の要請に対応した研究や独創的な研究活動を通して、社会の発展と人類の幸福に寄与することを薬学研究科薬学専攻（博士課程）の教育理念とする。

[大学院薬学研究科の教育目的]

《生命薬科学専攻修士課程》

薬学研究科生命薬科学専攻（修士課程）の教育理念に沿って、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、医薬品の専門家としての確かな知識・技術を駆使し、先駆的かつ指導的役割を果たすことが出来る高度な薬科学研究者の養成を本専攻の教育目的とする。

《薬学専攻博士課程》

薬学研究科薬学専攻（博士課程）の教育理念に沿って、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育・研究を推進し、研究活動を通して、人間性豊かで確かな倫理観を有する薬学研究者や教育指導者の養成を本専攻の教育目的とする。

[大学院薬学研究科の教育目標]

《生命薬科学専攻修士課程》

薬学研究科生命薬科学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 豊かな学識と人格の養成
2. 高度な専門知識および学術の修得
3. 高度な問題解決能力の涵養

《薬学専攻博士課程》

薬学研究科薬学専攻（博士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 豊かな学識と人格の養成
2. 独創的な研究および研究能力の養成
3. 社会の要請に的確に対応できる教育・研究能力の修得

○ 大学院薬学研究科の三方針

[大学院薬学研究科 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)]

《生命薬科学専攻修士課程》

以下の要件を満たし、生命薬科学における高度専門性と研究能力を修得したと認められる者に対して、「修士（生命薬科学）」の学位を授与する。

1. 薬学研究科生命薬科学専攻（修士課程）に2年以上在学し、本研究科が定める履修上の要件を満たしている。
2. 研究指導を受け、学位論文を提出し、本研究科が行う論文審査および最終試験に合格している。

《薬学専攻博士課程》

以下の要件を満たし、深い学識と高い研究能力を修得したと認められる、あるいは高度な薬学専門性を必要とする職業において指導的役割を担うための高い学識と能力を修得したと認められる者に対して、「博士（薬学）」の学位を授与する。

1. 薬学研究科薬学専攻（博士課程）に原則4年以上在学し、本研究科が定める履修上の要件を満たしている。
2. 研究指導を受け、学位論文を提出し、本研究科が行う論文審査および最終試験に合格している。

[大学院薬学研究科 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)]

《生命薬科学専攻修士課程》

薬学研究科生命薬科学専攻（修士課程）の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 志望研究分野に属して研究指導を受け、課題研究を通して問題発見能力および解決能力を身につけさせる。
2. 幅広い視野から生命薬科学を学ぶことができるように配されたカリキュラムを通して、分野横断的に授業科目を履修させる。これにより高度専門職能の基礎となる豊かな学識を身につけさせる。
3. 特論・演習科目の評価はプレゼンテーション・討論の参加状況やレポート等を用いて実施する。修士論文作成に当たり、指導担当教員による形成的評価を継続的に行い、研究態度、課題研究到達度および最終年次における研究発表会、修士論文審査基準に基づいて総合的に評価を行う。

《薬学専攻博士課程》

薬学研究科薬学専攻(博士課程)の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 志望研究分野に属して医療薬学に関連する先端的研究に取り組みながら、研究計画能力と研究実践能力を身につけさせる。
2. 学会発表ならびに論文発表を通して研究競争力と問題処理能力を身につけさせる。
3. 幅広い視野から基盤薬学ならびに応用薬学を学ぶことができるように配された授業科目の履修を通して、所属研究分野の知識のみに偏ることなく分野横断的に医療薬学に拘わる高度専門知識を修得させる。これにより専門職能を発展する基礎となる豊かな学識を身につけさせる。
4. 特論・演習科目の評価はプレゼンテーション・討論の参加状況やレポート等を用いて実施する。博士論文作成に当たり、指導担当教員による形成的評価を継続的に行い、3年次の「中間報告会」、最終年次における研究発表会、口頭試問、学力検査および博士論文審査基準に基づいて総合的に評価を行う。

[大学院薬学研究科 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)]

《生命薬科学専攻修士課程》

薬学研究科生命薬学専攻(修士課程)では、学部において学んだ知識・技能をベースにして更に研鑽を積み、創薬科学あるいは医療科学それぞれの領域における、より高度な専門知識や理論・技術を修得して、地域の保健医療や福祉の増進、向上に携わることに強い意欲を持つ学生を求めます。

《薬学専攻博士課程》

薬学研究科薬学専攻(博士課程)では、日進月歩の近代医療の中で、人々や他の医療従事者の多様なニーズに応えるために薬剤師として更なる高度専門知識を修得することを目指す学生、さらに医療薬学に関連する学問領域での最先端の研究に従事して自己研鑽を積み、地域医療の中核を担おうとする意欲を持つ学生を求めます。

○ 大学院薬学研究科の概要

本研究科では「保健、医療、福祉」を総合的に理解した上で、薬と人間との相互関係を把握でき、さらには、患者や他の医療職より信頼される「薬のプロフェッショナル」の養成を目的としている。

修士課程は薬学教育6年制移行に伴い、従来の2専攻16研究分野(薬学専攻:7分野・医療薬学専攻:9分野)を1専攻6研究分野に統合・再編し、新たに「生命薬科学専攻」を開設した。同専攻では、社会的要請をふまえ、薬学部を含む理系学部卒業者を対象として、高度の専門的知識と先駆的な知見と技術に裏付けられた優れた問題処理能力、研究能力を有し創薬科学を推進できる研究者・高度専門技術者の養成を目的としている。

6年制薬学部を基礎とする新しい薬学専攻博士課程では、従来の3学系8分野を2学系に統合し、薬学を基盤として医療薬学の最先端の研究を通して、先端医療の推進に必要な高度な専門知識と研究能力、広い視野に立って総合的観点から研究・開発に取り組み、医療現場において指導的役割を担う人材養成を図るための教育課程を編成した。

本学の大学院教育では、こうした時代に対応すべく、2008年4月より、研究者又は教育者を養成する「研究コース」と、研究マインドを持った専門医を養成する「認定医・専門医養成コース」を創設し、学部教育に続き高度な教育と研究を推進し、保健・医療・福祉の連携・統合を担う実践的な人材の養成を含めた大学院を目指し、新しいカリキュラムにより教育を行っている。

○ 修業年限・学生定員

課程	専攻	修業年限	定員	
			収容定員	入学定員
薬学研究科 修士課程	生命薬科学専攻	2年	6名	3名
薬学研究科 博士課程	薬学専攻	4年	12名	3名

○ 研究分野・学系

修士課程・生命薬科学専攻	博士課程・薬学専攻
<p>【 6 研究分野 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創薬化学 ・生命物理科学 ・分子生命科学 ・衛生薬学 ・薬理学 ・薬剤学 	<p>【 2 学系 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤薬学系 ・臨床薬学系

○ 担当教員

■ 生命薬科学専攻 修士課程 担当教員

専攻	研究分野	教授	准教授	講師
生命薬科学専攻	創薬化学	小林 健一		平山裕一郎
		西 剛秀	山田 康司	坪郷 哲
			高上馬希重 堀田 清	金 尚永
	生命物理科学	村井 毅	佐藤 浩範	佐々木隆浩
		吉村 昭毅		
			北浦 廣剛	
	衛生薬学	浜上 尚也	小林 大祐	
		小島 弘幸	寺崎 将	
	分子生命科学	青木 隆		土田 史郎
		岡崎 克則	大澤 宣明	
	薬理学	柳川 芳毅		水野 夏実
		泉 剛	大橋 敦子	鹿内 浩樹
		木村 真一		
		飯塚 健治	町田 拓自	
	薬剤学		小田 雅子	
		柴山 良彦	中川 勉	久保 儀忠
		小林 道也	伊藤 邦彦	
		平野 剛		
		(遠藤 泰) (中川 宏治)	(吉田 栄一)	(中山 章) (櫻田 涉) (早坂 敬明)

■ 薬学専攻 博士課程 担当教員

専攻	学系	教授	准教授	講師
薬学専攻	基盤薬学系	小林 健一		平山裕一郎
		西 剛秀	山田 康司	坪郷 哲
			高上馬希重	金 尚永
			堀田 清	
		村井 毅	佐藤 浩輔	佐々木隆浩
		吉村 昭毅		
			北浦 廣剛	
		浜上 尚也	小林 大祐	
	小島 弘幸	寺崎 将		
	中川 宏治			
	臨床薬学系	青木 隆		土田 史郎
		岡崎 克則	大澤 宣明	
		柳川 芳毅		水野 夏実
		泉 剛	大橋 敦子	鹿内 浩樹
		木村 真一		
		飯塚 健治	町田 拓自	
			小田 雅子	
		柴山 良彦	中川 勉	久保 儀忠
		小林 道也	伊藤 邦彦	
		平野 剛	吉田 栄一	中山 章 櫻田 涉 早坂 敬明
遠藤 泰				

令和3年度 大学院薬学研究科教務日程

●:3月授与分 ○:9月授与分

日	月	火	水	木	金	土	行事内容	学位申請日程			関連事項 (学部・全学)		
								修士課程	課程博士	論文博士			
4	4	5	6	7	8	9	大学院教務ガイダンス (4月入学者) 4月中旬～下旬		○学位申請ガイダンス 4月中旬～下旬	○予備審査願提出期限 3/31	・入学式 4/10 ・健康診断		
11	12	13	14	15	16	17				○資格審査・審査願受理可否 /予備審査委員候補者選出 4/12			
18	19	20	21	22	23	24				○研究発表会申込書提出期限 4/23		○研究発表会申込書提出期限 4/23	
25	26	27	28	29	30								
5	5	6	7	8	9	10			○資格確認/研究発表会実施要領 /座長選出 5/10	○研究発表会実施要領 /座長選出 5/10	・防災訓練(中止)		
16	17	18	19	20	21	22			○研究発表会要旨提出期限 5/14	○研究発表会要旨提出期限 5/14			
23	24	25	26	27	28	29			○研究発表会 5/24	○研究発表会 5/24			
30	31								○口頭試問 5/31	○口頭試問/英語試験 5/31			
6	6	7	8	9	10	11	○学位申請ガイダンス 6月中旬	○学位論文提出の可否 /審査委員(主査)候補者選出 6/7 (論文作成指導)	○予備審査結果報告 /学位申請受理の可否 /審査委員(主査)候補者選出 6/7 (論文作成指導)	・6年総合薬学 研究発表会6/8 ・九十九祭 *振替休日6/21			
13	14	15	16	17	18	19							
20	21	22	23	24	25	26							
27	28	29	30										
7	7	8	9	10	11	12	○資格確認・発表会実施要領	○学位論文提出期限 7/1	○学位論文提出期限 7/1				
4	5	6	7	8	9	10					○研究発表会要旨提出期限	○学位論文受理の可否 /審査委員候補者選出 7/5	○学位論文受理の可否 /審査委員候補者選出 7/5
11	12	13	14	15	16	17					○研究発表会 ○審査委員候補者選出	(○学位論文審査/最終試験)	(○学位論文審査/最終試験 /学力の確認)
18	19	20	21	22	23	24							
25	26	27	28	29	30	31							
8	8	9	10	11	12	13	・博士/修士入試 (第1回)(10月入学) ・夏期休業	○学位論文提出期限	・中間発表(報告)会 申込期日 8/2	○学位論文審査報告書提出期限 8/25	・CBT体験受験 8/27(予定)		
15	16	17	18	19	20	21		○審査委員候補者選出	○学位論文審査報告書提出期限 8/25			○学位論文審査報告書提出期限 8/25	
22	23	24	25	26	27	28		○学位論文審査報告書提出 ○学位論文審査結果報告 ○学位授与の可否	●学位申請ガイダンス 8月下旬 ○学位論文審査結果報告 /学位授与の可否 8/30			○学位論文審査結果報告 /学位授与の可否 8/30	
29	30	31											
9	9	10	11	12	13	14	○学位記授与 9月中旬	○学位記授与 9月中旬	○学位記授与 9月中旬	・防災訓練(中止)			
19	20	21	22	23	24	25					・中間発表(報告)会 9/21	●予備審査願提出期限 9/30	
26	27	28	29	30									

■ は、祝祭日・振替休業日
 ■ は、夏期・年末年始 創立記念日(大学休業日)

●:3月授与分 ○:9月授与分

日	月	火	水	木	金	土	行事内容	学位申請日程			関連事項 (学部・全学)			
								修士課程	課程博士	論文博士				
					1	2	大学院教務ガイダンス (10月入学者) 10/上旬			●資格審査/審査願受理の可否 /予備審査委員候補者選出 10/12	●総合型選抜(未定)			
3	4	5	6	7	8	9								
10	11	12	13	14	15	16						●創立記念日10/11 ●地区別父母懇談会		
17	18	19	20	21	22	23						●研究発表会申込書提出期限 10/29	●研究発表会申込書提出期限 10/29	
24	25	26	27	28	29	30								
31														
	1	2	3	4	5	6			●資格確認・研究発表会実施要領 /座長選出 11/8	●研究発表会実施要領 /座長選出 11/8	●総合型選抜 (未定)			
7	8	9	10	11	12	13								
14	15	16	17	18	19	20						●研究発表会要旨提出期限 11/12	●研究発表会要旨提出期限 11/12	
21	22	23	24	25	26	27						●研究発表会 11/22	●研究発表会 11/22	
28	29	30										●口頭試問 11/29	●口頭試問 11/29	●OSCE本試験 11/28(予定)
			1	2	3	4	●学位申請ガイダンス 12月初旬	●研究発表会申込書提出期限	●学位論文提出の可否 /審査委員(主査)候補者選出 12/6	●予備審査結果報告 /学位申請受理の可否 /審査委員(主査)候補者選出 12/6	●実学総合試験 12/20-21			
5	6	7	8	9	10	11								
12	13	14	15	16	17	18						●資格確認/発表会実施要領		
19	20	21	22	23	24	25						●冬期休業		
26	27	28	29	30	31									
						1	●研究発表会要旨提出期限	●研究発表会 ●審査委員候補者選出	●学位論文提出期限 1/12	●学位論文提出期限 1/12	●CBT本試験 1/14(予定)			
2	3	4	5	6	7	8								
9	10	11	12	13	14	15						●学位論文受理の可否 /審査委員候補者の選出 1/17	●学位論文受理の可否 /審査委員候補者の選出 1/17	
16	17	18	19	20	21	22						●学位論文審査/最終試験	●学位論文審査/最終試験 /学力の確認	
23	24	25	26	27	28	29						●博士/修士入試 (第2回)		
30	31											●実学総合試験 追再試1/18-19		
		1	2	3	4	5	●学位論文提出期限	●審査委員候補者選出	●中間発表(報告)会 申込期日 (原則として秋期入学者対象) 2/1	●学位論文審査報告書提出期限 2/18	●学位論文審査報告書提出期限 2/18	●一般選抜(前期) (未定)		
6	7	8	9	10	11	12								
13	14	15	16	17	18	19							●学位論文審査結果報告 /学位授与の可否	●学位論文審査結果報告 /学位授与の可否 2/21
20	21	22	23	24	25	26								
27	28													
		1	2	3	4	5	●学位記授与 3月中旬	●学位記授与 3月中旬	●学位記授与 3月中旬	●学位記授与 3月中旬	●一般選抜(後期) (未定)			
6	7	8	9	10	11	12								
13	14	15	16	17	18	19						●中間発表(報告)会 (原則として秋期入学者対象) 3/14		
20	21	22	23	24	25	26						○予備審査願提出期限 (R4.9月授与分) 3/31		
27	28	29	30	31								●学内合同就職 相談会 3月上旬(予定)		

は、祝祭日・振替休業日
は、夏期・年末年始 創立記念日(大学休業日)

令和3年度
大学院薬学研究科生命薬科学専攻修士課程
授業科目・担当者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			担当教員
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専 門 コ ア 課 目	創薬化学特論Ⅰ	1・2		2		○			・小林(健)教授・山田准教授・高上馬准教授
	創薬化学特論Ⅱ	1・2		2		○			・小林(健)教授・山田准教授・高上馬准教授
	創薬化学セミナーⅠ	1・2		2			○		・小林(健)教授・山田准教授・高上馬准教授
	創薬化学セミナーⅡ	1・2		2			○		・小林(健)教授・山田准教授・堀田准教授
	小計(4科目)	—		8			—		
	生命物理科学特論Ⅰ	1・2		2		○			・吉村教授・村井教授・北浦准教授・佐藤准教授 ・佐々木講師
	生命物理科学特論Ⅱ	1・2		2		○			・吉村教授・村井教授・北浦准教授・佐藤准教授 ・佐々木講師
	生命物理科学セミナーⅠ	1・2		2			○		・吉村教授・村井教授・北浦准教授・佐藤准教授 ・佐々木講師
	生命物理科学セミナーⅡ	1・2		2			○		・吉村教授・村井教授・北浦准教授・佐藤准教授 ・佐々木講師
	小計(4科目)	—		8			—		
	分子生命科学特論Ⅰ	1・2		2		○			・青木教授・岡崎教授
	分子生命科学特論Ⅱ	1・2		2		○			・青木教授・岡崎教授
	分子生命科学セミナーⅠ	1・2		2			○		・大澤准教授・土田講師
	分子生命科学セミナーⅡ	1・2		2			○		・大澤准教授・土田講師
	小計(4科目)	—		8			—		
	衛生薬学特論Ⅰ	1・2		2		○			・小島教授・浜上教授・小林(大)准教授
	衛生薬学特論Ⅱ	1・2		2		○			・小島教授・浜上教授・小林(大)准教授
	衛生薬学セミナーⅠ	1・2		2			○		・小林(大)准教授・寺崎准教授
	衛生薬学セミナーⅡ	1・2		2			○		・小島教授・浜上教授
	小計(4科目)	—		8			—		
	薬理学特論Ⅰ	1・2		2		○			・飯塚教授・泉教授・柳川教授
	薬理学特論Ⅱ	1・2		2		○			・飯塚教授・泉教授・柳川教授
	薬理学セミナーⅠ	1・2		2			○		・木村(真)教授・大橋准教授
	薬理学セミナーⅡ	1・2		2			○		・柳川教授・町田准教授
	小計(4科目)	—		8			—		
	薬剤学特論Ⅰ	1・2		2		○			・小林(道)教授・平野教授・柴山教授
薬剤学特論Ⅱ	1・2		2		○			・小林(道)教授・平野教授・柴山教授	
薬剤学セミナーⅠ	1・2		2			○		・伊藤准教授・小田准教授・久保講師	
薬剤学セミナーⅡ	1・2		2			○		・伊藤准教授・小田准教授・久保講師	
小計(4科目)	—		8			—			
研 究 題	課題研究	1~2	18					○	全指導教員
	小計(1科目)	—	18					—	
生 命 薬 科 学 科 目	生命薬科学特論Ⅰ(生体機能解析)	1・2		1		○			・大橋准教授
	生命薬科学特論Ⅱ(遺伝子機能解析)	1・2		1		○			・青木教授
	生命薬科学特論Ⅲ(病態解析)	1・2		1		○			・飯塚教授
	生命薬科学特論Ⅳ(タンパク機能解析)	1・2		1		○			・吉村教授
	生命薬科学特論Ⅴ(薬物標的分子解析)	1・2		1		○			・小林(道)教授
	生命薬科学特論Ⅵ(食品機能解析)	1・2		1		○			・浜上教授・小林(大)准教授
	生命薬科学特論Ⅶ(ゲノム薬理学)	1・2		1		○			・岡崎教授
	小計(7科目)	—		7				—	
が ん 専 門 科 目	がん特論Ⅰ(がん病態学総論)	1・2		1		○			・飯塚教授
	がん特論Ⅱ(がん病態学各論)	1・2		1		○			・泉教授
	がん特論Ⅲ(がん化学療法)	1・2		1		○			・平野教授
	がん特論Ⅳ(抗がん剤動態解析)	1・2		1		○			・小林(道)教授
	小計(4科目)	—		4				—	
合計(36科目)		—	18	59	0			—	

修了要件及び履修方法: 必修科目26単位(所属する研究分野の専門コア科目8単位と課題研究18単位)及び選択科目4単位(他の研究分野の専門コア科目または生命薬科学科目)の合計30単位以上修得し、必要な研究指導を受け、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。
上記のほか、がん専門コースを選択する場合は、がん専門科目を必修とする。

令和3年度 薬学研究科修士課程 講義時間割

【第1学年】
【前期】

※変更となることがあります

曜日	I 9:00~10:20	II 10:30~11:50	III 12:40~14:00	IV 14:10~15:30	V 15:40~17:00
月	衛生薬学特論 I 〈小島・浜上・小林(大)〉	薬理学特論 I 〈飯塚・泉・柳川〉			
火	薬剤学特論 I 〈小林(道)・平野・柴山〉	生命科学特論 I 〈大橋〉			
水	生命科学特論 II 〈青木〉	創薬化学特論 I 〈小林(健)・山田・高上馬〉			
木		分子生命科学特論 I 〈青木・岡崎〉			
金		生命物理学特論 I 〈吉村・村井・北浦・佐藤・佐々木〉			

【後期】

曜日	I 9:00~10:20	II 10:30~11:50	III 12:40~14:00	IV 14:10~15:30	V 15:40~17:00
月			衛生薬学セミナー I 〈小林(大)・寺崎〉		
火		生命物理学セミナー I 〈吉村・村井・北浦・佐藤・佐々木〉	生命科学特論 III 〈飯塚〉	がん特論 I 〈飯塚〉	
水	薬剤学セミナー I 〈伊藤・小田(雅)・久保〉	薬理学セミナー I 〈木村(真)・大橋〉			
木	創薬化学セミナー I 〈小林(健)・山田・高上馬〉	生命科学特論 IV 〈吉村〉	生命科学特論 V 〈小林(道)〉		
金		分子生命科学セミナー I 〈大澤・土田〉			

【第2学年】
【前期】

※変更となることがあります

曜日	I 9:00~10:20	II 10:30~11:50	III 12:40~14:00	IV 14:10~15:30	V 15:40~17:00
月		生命科学特論 VI 〈浜上・小林(大)〉	薬剤学特論 II 〈小林(道)・平野・柴山〉		
火		がん特論 III 〈平野〉	分子生命科学特論 II 〈青木・岡崎〉		
水		衛生薬学特論 II 〈小島・浜上・小林(大)〉	生命物理学特論 II 〈吉村・村井・北浦・佐藤・佐々木〉		
木		創薬化学特論 II 〈小林(健)・山田・高上馬〉			
金		がん特論 II 〈泉〉	薬理学特論 II 〈飯塚・泉・柳川〉		

【後期】

曜日	I 9:00~10:20	II 10:30~11:50	III 12:40~14:00	IV 14:10~15:30	V 15:40~17:00
月			創薬化学セミナー II 〈小林(健)・山田・堀田〉	生命物理学セミナー II 〈吉村・村井・北浦・佐藤・佐々木〉	
火		がん特論 IV 〈小林(道)〉	薬理学セミナー II 〈柳川・町田〉		
水	生命科学特論 VII 〈岡崎〉	薬剤学セミナー II 〈伊藤・小田(雅)・久保〉			
木	分子生命科学セミナー II 〈大澤・土田〉				
金			衛生薬学セミナー II 〈小島・浜上〉		